



令和5年10月31日発行  
 さいたま市立本太小学校  
 Tel 048-882-3007  
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>  
 e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

◆ **運動会 動き出した“感動エンジン”！**

3年間の空白期間を経て、本太小学校の運動会が盛大に挙行されました。子どもたちは、自ら～「協力」「笑顔」「全力」目指せ頂点(てっぺん)！～というスローガンを掲げ、精一杯の競技・演技を頑張ってくれました。

コロナ禍により「感動」の行事から遠ざかっていましたが、この運動会を実施できたことにより、いよいよ“感動エンジン”が本格的に動き出しました。この後予定している音楽会でも、大きな感動が本太小学校を包み込んでくれるはずです。

保護者・地域の皆様、今月も本校の教育活動へのご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

◆ **言葉を選びましょう！！**

**たった一言が、人の心を傷つける**  
**たった一言が、人の心を暖める**

子どもたちは、大人からかけられた言葉をそのまま心に染み込ませます。日頃から子どもたちに不快感を与えないような言葉を選択したいものです。

例えば・・・

- ×おとなしい → ◎協調性の高い
- ×しつこい → ◎粘り強い
- ×不器用 → ◎地道に頑張る
- ×耳を貸さない → ◎信念が強い
- ×無鉄砲 → ◎失敗を恐れない

また、言葉には、「言霊」があると言われていています。そして、喜びを感じる言葉を反芻していると心がリラックスして心身のリズムが好調になってくるとも言われています。

ですから、子どもたちには明るく、元気が出るような言葉を選び、声がけしていきたいですね！！

◆ **バラは花を見る**

11月を前にして、子どもたちには、できなかったことができるようになったり、分らなかったことが分かるようになったり、様々な場面で成長が見られるようになりました。子どもたちの成長を見る時に、私が大切にしている言葉があります。

それは、「**バラは花を見るべきで、トゲを見るべきでない**」という言葉です。

伊藤仁斎(江戸時代の儒学者・思想家)も「**仁者は常に人の是を見る。不仁者は常に人の非を見る**」という教訓を遺しています。

ぜひ、“美点凝視”をモットーにされ、子どもたちの成長をご確認ください。

◆ **子どもの話に耳を傾ける**

子どもたちは、色々なことを大人に伝えたいがります。しかし、私たち大人は、忙しさにかまけて、子どもの話に耳を傾けることを怠ってしまうこともあるのではないのでしょうか。

子どもの話には、時に深いメッセージが隠されていることもあります。次の5点を心掛け、時には、じっくりと話を聞いてあげることが必要ではないのでしょうか。

- 1 話し終わるまで、子どもを見続ける
- 2 身を乗り出し、じっと耳を傾ける
- 3 質問する
- 4 話を遮らず、話題を勝手に変えない
- 5 会話時は、自分ではなく子どもに意識を向ける(子どもを主語にする)

**「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来に生きる子どもたちの幸せのために～**